

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第2回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

- ・地域自治の推進に向けたヒアリング調査の実施について
- ・4区（牧区、中郷区、清里区、板倉区）地域協議会委員合同研修について

（2）協議（公開）

- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・自主的審議事項「子どもの居場所づくり」について

（3）その他（公開）

3 開催日時

令和5年5月24日（水） 午後6時30分から午後8時00分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：竹内靖彦（会長）、荒川清尊、高橋達也、竹内昭彦、宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一、陸川陽一（欠席4人）
- ・ 事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、宮尾市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、兒玉産業建設業務窓口班長、早川税・市民生活班長、高橋福祉班長（以下、グループ長はG長と表記。）

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

会議録確認を高橋達也委員と竹内昭彦委員に依頼。

報告事項（1）地域自治の推進に向けたヒアリング調査の実施について、事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料「地域自治推進プロジェクトの概要」を基に説明。市では、地域自治の理想的な姿の考察と作成に向け、総合事務所が区内の団体を対象にヒアリングを行うこととした。中郷区においては、昨年度、地域協議会が実施した住民アンケートやこれまでの各種団体等との関係性の中で、ある程度の状況が把握できていることから、地域政策課が示す団体すべてを対象にせず、必要最小限の範囲での実施を検討している。

【竹内（靖）会長】

昨年度実施した住民アンケート等により、中郷区は先進的な立場にいると思っているので、事務局説明のとおり、必要最小限の実施でよいと考える。委員からの意見質問等ないか。

【高橋（達）委員】

ヒアリングは 6 月末までに実施するとのことだが、具体的なスケジュールはどうなっているか。

【桐山班長】

今年度中に、理想的な姿を導き出す予定である。6 月中に全 28 区においてヒアリング等を行った後、集計・分析をし、有識者の意見を聴くなどの経過で進む予定となっている。

【高橋（達）委員】

中郷区で行うヒアリングについて、委員が協力する部分があれば、早急に示していただきたい。

【竹内（靖）会長】

次に報告事項(2) 4区(牧区、中郷区、清里区、板倉区)地域協議会委員合同研修会について、事務局に説明を求める。

【桐山班長】

毎年行われている牧区、中郷区、清里区、板倉区の4区地域協議会委員合同研修会について、今年は、板倉区が幹事になっている。板倉区地域協議会長から届いた開催案内の文書を基に、開催内容を説明。

【竹内(靖) 会長】

会長が行う各区地域協議会の報告は、3月11日に開催した地域への活動報告会の内容を指定された10分にまとめて発表する。久しぶりの情報交換会もあるので出来るだけ参加願いたい。

次に、協議に移る。(1) 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、前回の会議で事務局から提案があった上越市の公共交通政策について、現行の計画説明を交通政策課に求める。

【木南交通政策課副課長】

資料No.1-1「第2次上越市総合公共交通計画の概要」、資料No.1-2「路線バス・乗合タクシー各路線の評価結果」を基に説明。

【野沢交通政策課主任】

資料No.2-1「予約型コミュニティバスの実証運行について」、資料No.2-2「オンデマンド交通システム「コンビニクル」の概要」、資料No.2-3「予約型コミュニティバス実証運行の結果」、資料No.3「互助による輸送について」を基に説明。

【竹内(靖) 会長】

せっかくの機会である。交通政策課の説明への質疑を含め、中郷区での提案などざっくばらんに意見交換したい。

【宮川委員】

中郷区は、上越市の中で飛び地的な地形であることが特徴である。市内移動でも中郷区を出ると妙高市を通ることになり、自治体の壁が悩みどころである。

【木南交通政策課副課長】

予約型コミュニティバスは、原則、各区を運行区域としている。この場にて、今後の中郷区における公共交通の形態について、具体的な提案はできないが、利便性や運行経費のことを考慮すると、区を越えて取り組むことが必要であると認識している。現在、中郷区内を運行している岡沢ルートと関山ルートは、妙高市とまたがって運行されており、今後も妙高市との連携の中で、より良い形を模索することが大切であるという認識である。また、国においても制度の見直しが進められている。

【宮川委員】

自分自身の経験から、自治体を超える区域の見直しは非常に難しいと感じているので、今後に期待したい。

【竹内（靖）会長】

中郷区では、地域協議会の提案で地域独自の予算事業として、中郷区内乗合タクシー貸切ツアーを実施しているが、乗合タクシーの認知度が低いと感じている。中郷区内乗合タクシー貸切ツアーは、中郷区内という限られた区域を巡回するものだが、利用者からは好評を得ている。少し、公共交通としての利用とは異なるが、小さいことから始めて、乗合タクシーの普及にも努めていきたい。

【村越委員】

予約型コミュニティバスよりも互助型が便利だと感じたが、予約型コミュニティバスと互助による輸送の違いは何か。

【木南交通政策課副課長】

予約型コミュニティバスは、路線バス等が運行している地域での新たな運行形態であり、利用者の減少に伴いバス路線が廃止となる地域において、住民の皆さんが主体となって行うものが、互助による運行である。

予約型コミュニティバスは、路線バスに比べ近くまで来てもらえることや時間も自分の都合にある程度合わせられることにより便利になったとの声がある。

互助の取組として有償運行する場合、自家用有償旅客運送の制度があり、交通空白地であることが条件になっている。互助の運行は、地域の団体が運行することで、より地域のニーズに合った運行ができることがよいところだが、実施する地域に運行団体があるかといった課題がある。

【村越委員】

中郷区の地理的な特徴や鉄道が走っていることも考え、地域に合う運行を詰めていきたい。

【竹内（靖）会長】

時間の都合で、以上をもって本日の「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」についての協議は終了し、交通政策課職員は、退席となる。

次に（2）自主的審議事項「子どもの居場所づくり」についての協議に移る。昨年実施した住民アンケートの結果に基づくテーマであるが、まずは、保護者などを集めた座談会から始めようと思っている。内容や時期、座談会の形式など、各委員からの意見はあるか。

【高橋（達）委員】

誰もが気軽に参加できる形式が望ましい。昨年、公民館事業として行った座談会を定期的に行うことができればよいのではないか。地域協議会が呼び掛けて開催するよりも、気軽に参加できる形で開催できると良いのではないか。

【竹内（靖）会長】

地域協議会以外の団体等での開催を考えると、スケジュール調整等、困難な部分があるため、地域協議会が主催し、委員を割り振り地域ごとに開催するなど、少人数が集まって意見を言いやすい場を作る方法が良いのではないか。

【陸川（陽）委員】

集まる時間に工夫が必要と考える。昼間は仕事をしている保護者が多い反面、土日は土日で家庭のいろんな用事があり、集まりにくいという懸念がある。

【竹内（靖）会長】

子どもを連れてきてよい設定にはどうか。

【村越委員】

子どもと一緒に参加できるイベントに合わせて開催すると良いのではないか。

【竹内（靖）会長】

子ども会に声をかけてみる方法もある。子ども会が無くなった町内会もあるが、無くなった町内会では問題等が出ていないものか。

【村越委員】

（自身の所属する南部地区の状況として）稲荷山町内会は、町内会から支援を受け細々と活動しているが、他の町内会では子どもがいる世帯が数軒になり、町内会に提出する書類のことや活動も限られるなどから、子ども会が無くなっている。南部地区の対象者を集めるのであれば声を掛けられる。

【陸川（昇）委員】

（自身の所属する）藤沢町内会は、7月に運動会を予定している。ここ数年は、コロナ禍で終了後の懇親会を中止していたが、今年は実施する予定である。板橋町内会は、運動会には参加しないが、運動会終了後の懇親会の時間に合わせて声をかければ、板橋と藤沢の保護者の声が聞くことができると思う。

【竹内（靖）会長】

前向きな委員の発言があり、ありがたい。南部地区と藤沢町内会・板橋町内会は、参加委員の人数を絞って実施したい。江端町内会も実施できると思う。出来るところからやってみよう。

【高橋（達）委員】

実施に関しては賛成する。町内会を越えて交流が持てることも良いこと。そういう集まりから次代のリーダーが生まれ、育てていけることも期待できる。

【竹内（靖） 会長】

小さな集まりから始めてみることにする。リーダーを育てるといって、敬遠されかねないが、リーダーシップを備えた人は多くいるので、リーダーシップを尊重する取組を目指したい。また、次年度の地域独自の予算への提案も視野に入れながら進みたい。

【竹内（昭） 委員】

小さな集まりで始めることに賛成する。小さな集まりの方が意見を言いやすいと思う。小さな集まりで実施することで、多くの意見が聞けると思う。

【竹内（靖） 会長】

本日配布した資料「こ食解消で健康な身体づくり」のチラシをご覧いただきたい。一般社団法人中郷区さとまる学校が、地域独自の予算を活用し実施する事業であるが、学校の夏休み期間に実施するものである。この事業の中でも、保護者の意見を聞く場面を作りたいと思っている。まずは、本日の協議を踏まえ、できるところから始めることにする。

【桐山班長】

次年度の地域独自の予算を目指すのであれば、8 月中に実施内容をある程度まとめる必要がある。地域に出向くにあたり、座談会で聞く内容等をあらかじめ決めてから行く必要はないか。

【竹内（靖） 会長】

シナリオ的なことを決めて出向く必要はなく、その場の雰囲気で作れると思っている。地域独自の予算については、アンケート結果やこれまでの座談会等の中でイメージが出来ている。子どもたちがどこに集まれるか、どんな場所に集まりたいかが課題であり、そういう場所への移動方法を考え、事業提案につなげるというイメージである。今回聞く保護者の意見等から、新たな地域独自の予算事業を考えることではない。

他に意見等がなければ、本日の協議は終了とする。

その他に移る。先日、はーとぴあ中郷で行われた市議会議員の意見交換会に、地域協議会委員も数名出席したので、出席した委員の感想を共有したい。

【村越委員】

雰囲気が固く、ざっくばらんな意見が言いづらく話しにくかった。

【高橋（達） 委員】

村越委員から、話しにくい雰囲気だったとの感想があったが、場に慣れることも必要だと思う。せっかくの機会なので、参加して意見を言うことが大切である。若い方からも、たくさん参加していただきたいと思った。

【竹内（靖）会長】

私も参加し、少しでも話しやすくなれば良いと考え、次回は、司会をさせてもらえないかという提案を行った。一部、場違いな発言もあったが、地域協議会の考え方が伝わっていない部分もあり、周知が足りなかったと反省した。

【桐山班長】

本日の配布物を確認。

【竹内（靖）会長】

以上で、本日の地域協議会は終了とする。次回の地域協議会は、6月27日（火）18時30分からとする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。